

今をときめく まちのあの人に 会いに行く vol 3

大下剛史さん

海田町出身／元プロ野球選手、野球解説者

野山を駆け回った 子ども時代 海田町にある 野球人生の原点

僕

が子どもの頃は遊び道具などなく、そこらじゅうを駆け回り、木を拾ってバットにしてボールを打ち、野球の真似事をして遊んだ。中でも当時の瀬野川は潮が引くと砂浜が現れ、その砂浜で夢中になって木のバットを振り回してた。日浦山にもよく登ったな。とにかく日が暮れるまで走り回ってクタクタになって帰ってた。

実家は新町なので、今でもあのあたりを通ると懐かしい気持ちになる。明顕寺幼稚園、海田市小学校、海田中学校と生活のすべてが海田だった。豊かな自然と下町気質の温かい人達に囲まれていたので、海田に生まれて本当に良かったと今でも思う。

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

7月号では、海田町町民栄誉賞を受賞された大下さん取材しました。元カープの選手で、今では野球解説者として活躍している大下さんに、海田町での思い出や、受賞の心境についてお話しいただきました。



大下剛史さん

Profile

おおした・つよし／1944年11月生まれ、元野球選手。1967年東映フライヤーズ(現北海道日本ハムファイターズ)に入団後、1975年に広島東洋カープへ移籍。一番打者で同年のリーグ初優勝に貢献した。ダイヤモンドグラブ賞やベストナインを獲得、引退後はカープのコーチを務めた。